



注意 ご使用になる前に必ずお読みください。(本書は大切に保管してください)

■安全にご使用頂くために

本書では危険を伴う操作・お取扱について、次の警告記号を用いて重要な部分が一目で判るようにしています。内容を良くご理解の上で本文をお読みください。



警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡又は、重症を負う可能性が想定される内容を示します。

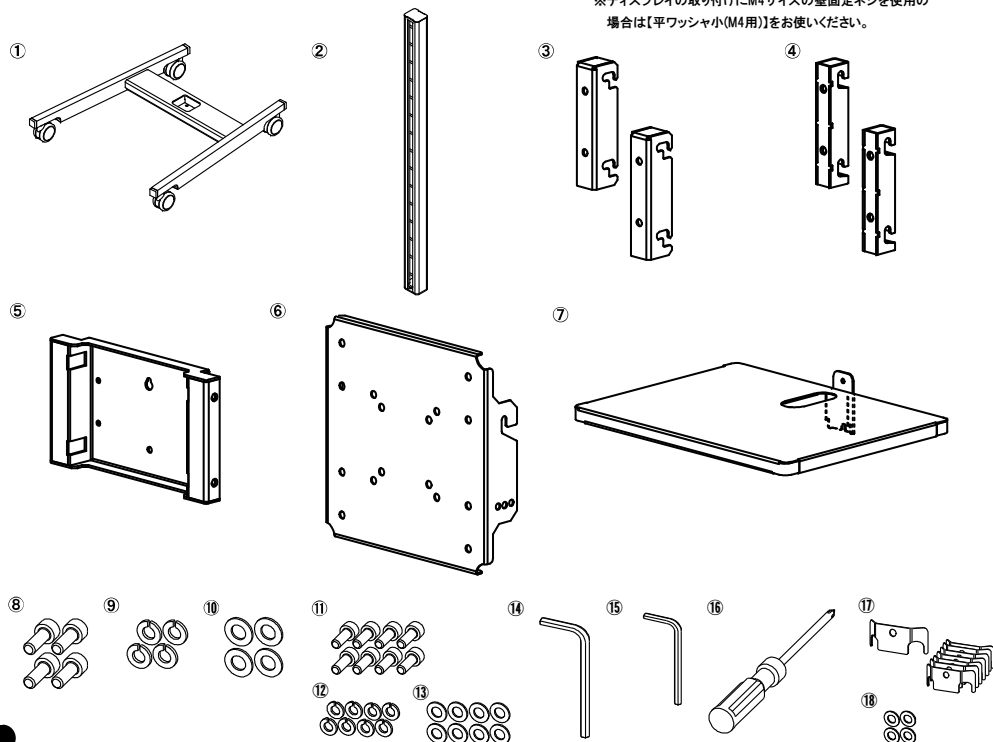


注意 この表示を無視した取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

1. セット内容

番号	部 品 名	数 量	番号	部 品 名	数 量	番号	部 品 名	数 量
①	ベース	1ヶ	⑦	棚板	1ヶ	⑬	平ワッシャ中(M6用)	8ヶ
②	メインフレーム	1ヶ	⑧	六角穴付ボルトM8×35	4ヶ	⑭	六角レンチ大(M8用)	1ヶ
③	フレーム取付金具	2ヶ	⑨	スプリングワッシャ大(M8用)	4ヶ	⑮	六角レンチ小(M6用)	1ヶ
④	フレーム受け金具	2ヶ	⑩	平ワッシャ大(M8用)	4ヶ	⑯	ドライバー	1ヶ
⑤	マウントプレート受け金具	1ヶ	⑪	六角穴付ボルトM6×20	8ヶ	⑰	ケーブル押さえ金具	8ヶ
⑥	マウントプレート	1ヶ	⑫	スプリングワッシャ中(M6用)	8ヶ	⑱	平ワッシャ小(M4用)	4ヶ

※ディスプレイの取り付けにM4サイズの壁固定ネジを使用の場合は[平ワッシャ小(M4用)]をお使いください。



●組立を行う前に

- 組立てる前に必ず内容物を確認してください。
- 組立てる際は広い場所で作業し、毛布などで床面にキズがつかない様行ってください。
- 組立作業はなるべく複数の作業者で行ってください。転倒し怪我をする恐れがあります。

2. 組立手順



警告

1 メインフレーム



警告
メインフレームを組立てる際は二人以上で行いメインフレームが転倒しないよう保持して組立ててください。
メインフレームを固定するボルトはしっかりと固定してください。

- ベース上面の穴にメインフレームをしっかりと差込み、底面から付属の六角穴付ボルトM8×35にスプリングワッシャ、平ワッシャを通し付属の六角レンチにてしっかりと固定してください。(図1,2)

図1

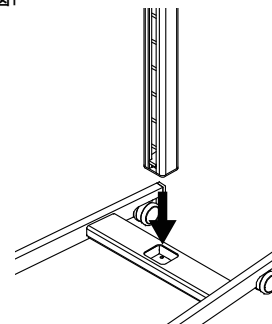
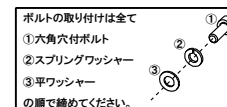
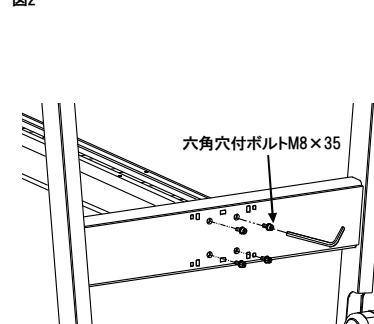


図2



2 フレーム金具取付

- マウントプレートと棚板を取り付けたい位置にフレーム受け金具とフレーム取付金具を【図4】のように取り付けます。

図3

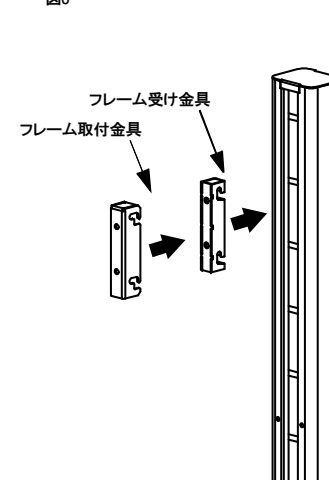
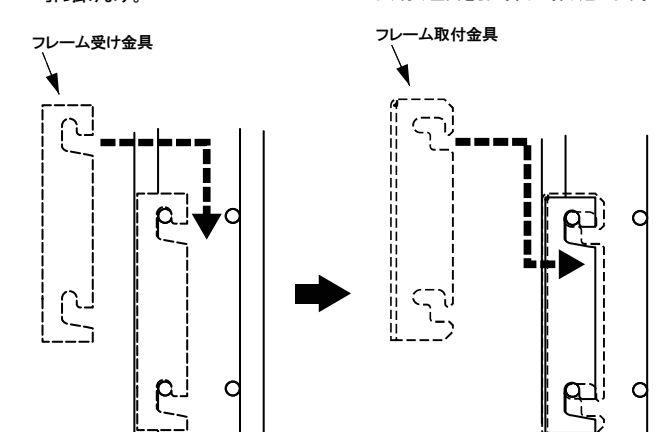


図4

- ① フレーム受け金具を任意の位置に引っ掛けます。
- ② フレーム受け金具を覆うようにフレーム取付金具を引っ掛けて押し込みます。



3 マウントプレート取付

- マウントプレート受け金具を【図5】のように固定ボルト2本で取り付けます。
- マウントプレート金具の上段ボルト穴に固定ボルトを軽く締めてマウントプレートを引っ掛けてください。引っ掛けた状態でマウントプレートの角度を調整し、固定ボルトでマウントプレートを下段ボルト穴としっかりと固定してください。最後に上段の固定ボルトをしっかりと締め込みます。

図5

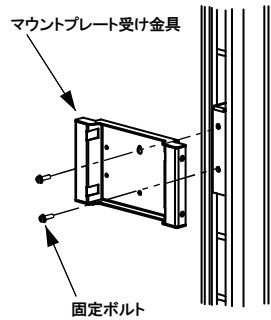
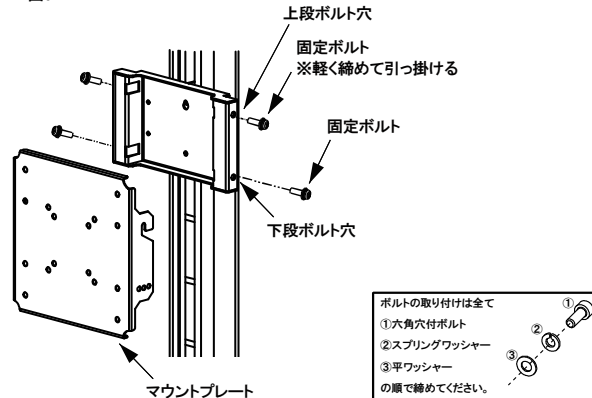


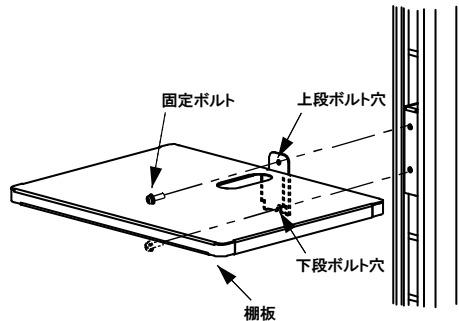
図6

**4 棚板取付方法** **注意****注意**

- 棚板を取り付ける際は必ず棚板が落下しないように保持してください。落下し破損、怪我をする恐れがあります。
- 搭載可能な機器の最大重量は10kgです。

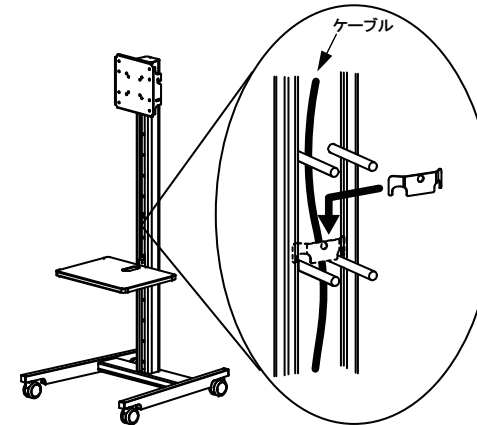
- フレーム取付金具の下段ボルト穴に固定ボルトを軽く締めて棚板を引っ掛けるように保持し、フレーム取付金具の上段ボルト穴と棚板の上段ボルト穴を固定ボルトによって固定します。最後に下段の固定ボルトを最後まで締め込んで固定します。(図7)

図7

**5 ケーブル押さえ金具使用方法**

- フレーム内側にケーブルを通し、ケーブル押さえ金具を丸棒より少し高い位置からフレームの内側へ差し入れます。(図8)
- その後、完全にフレームの内側までケーブル押さえ金具を入れ込み、丸棒に引っ掛けてください。(図9)

図8



※内側から見た図

図9

